

# はくざん通信 第23号

2002.4.10

## 神経ブロックについて

神経ブロックってなあに？

腰痛の治療方法、痛みの悪循環を断ち切る  
硬膜外注射を受けられる方への注意事項



阿蘇、白水村の「一心行の大桜」：樹齢400年以上  
(写真は一心行の大桜を発見・紹介された馬原敬二先生

のご好意による：2002年3月31日撮影)

この桜は、天正14年(1586)島津の侵攻で落城した  
宇土の矢崎城の城主だった、峯伯耆守惟冬(みね  
ほうきのかみこれふゆ)の菩提樹と言われている。



医療法人 社団 誠療会

なるお

成尾整形外科病院

〒862-0958 熊本市岡田町12-24

電話：096-371-1188

ファックス：096-366-9923

ホームページ：<http://www.naruoseikei.com/>

## 腰痛と神経ブロック

医局 野上俊光



### 神経ブロックってなあに？

辛(つら)い痛みを我慢するのは健康によくありません。神経ブロックとは、神経伝導路(道すじ)にうすい局所麻酔剤を注入して痛みを取ると共に血流を良くし、痛みをなおす治療法です。

**腰痛の治療方法**には以下のようなものがあります。

#### 保存療法(非侵襲的：外用、内服、理学療法)

安静・湿布・消炎鎮痛剤の内服など

コルセット着用・牽引療法など理学療法

#### 保存療法(侵襲的：注射療法)

トリガーポイント(痛みを誘発する部)注射  
硬膜外ブロック

神経根ブロック など

#### 手術療法(侵襲的治療)

神経ブロック療法は保存療法ですが、効果が大きい  
ため手術療法と従来の非侵襲的保存療法との中間に位置付けられています。

#### トリガーポイント(痛みを誘発する部)注射

腰痛の部分症として、腰背筋の痙縮とこれに伴う腰痛はほとんどすべての患者さんに認められます。このような腰痛にはトリガーポイント注射がよく効きます。

## 硬膜外ブロック

トリガーポイント注射のみでは期待したほどの効果が認められない場合や、神経根に由来する症状(下肢も痛い)が認められる場合、激しい疼痛が広範囲に認められる場合などには硬膜外ブロックが良い適応となります。

長く続く痛みの多くは「痛みの悪循環」によって生じることが分かってきました。

### 痛みの悪循環：

「痛い 痛い局所の血管が収縮 痛い部位に栄養や酸素が行かない 痛みを起こす疼痛物質が溜(た)まる 痛い」

というように、いつまでも痛みが続く状態であらわしたものです。痛みが持続する主因は循環障害と考えられています。

### 「痛みの悪循環」を断ちきる：

神経ブロック療法は痛みを取るだけでなく、血管の収縮に参与している交感神経の緊張も解きほぐします。血管は拡がり血流は改善し、疼痛物質を運び去り、筋肉の収縮・緊張を取り去るため、痛みが起こりにくくなります。神経ブロックの効果が一時的なものではなく、局所麻酔薬の作用時間以上に長く続くのは、このような「痛みの悪循環」を断ちきるためだと言われています。

局所麻酔薬のみでなく、炎症を押さえるステロイドといわれる薬を併用すると、効果がより大きくなります。

**[神経]ブロック[注射]の目的:**

([しんけい]ブロック[ちゅうしゃ])は、局所麻酔薬で痛みの信号をブロック(止める)する治療方法です。「ブロック療法」、「ブロック注射」とも言われます。

治療効果を狙って行うだけでなく、障害を受けている箇所や程度を評価する目的でおこなうこともあります。

**腰痛と神経ブロック療法:**

「神経ブロック療法」にはいろいろな種類があります。

腰痛の場合、トリガーポイントブロック、硬膜外ブロック、神経根ブロック、椎間関節ブロックなどを行うことが多く、腰痛の種類によって使い分けます。

ギクギク腰のような急に起こった急性腰痛の場合、1~2回の神経ブロックでなおるケースがみられます。

何年も前から痛んでいたような場合には、繰り返し注射を行う場合もできます。

症状がひどかったり、慢性化していて局所麻酔薬での効果が十分でないときには、精密検査や手術を検討した方がよいかもかもしれません。



**硬膜外[腔]ブロック[注射]:**

(こうまくがい[くう]ブロック[ちゅうしゃ])  
硬膜外腔に行く神経ブロック注射です。エピやエピドラと略することもあります。

腰痛に対しては、腰椎の棘突起の間から注射する「**腰部硬膜外ブロック**」と、お尻の仙骨裂孔から注射する「**仙骨硬膜外ブロック**」があります。

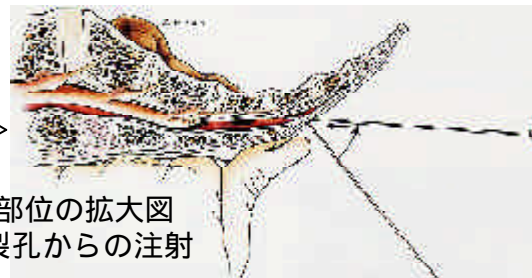
手技の安全性や自己負担の少ない料金面などを考慮し、**成尾整形外科病院では「仙骨硬膜外ブロック」**を主に行っています。

**硬膜外ブロックとミエログラフィーの違い:**

背骨の中には脊髄や馬尾(ばび)神経が通っています。この通り道は管状のトンネルになっていますので、**脊柱管**と呼ばれています。大事な脊髄や馬尾神経は、この頑丈な**脊柱管**のなかで、さらに**硬い膜(硬膜)**に包まれています。脊柱管と硬膜の間には**柔らかい脂肪組織**や**粗な結合組織**があり、神経を守るように包んでいます。

**硬膜外ブロック注射はこの硬膜の外にある粗な結合組織の所に薬液を注入していきます。**

**ミエログラフィーでは硬膜の中(脳脊髄液)に造影剤を入れて写真を撮影しています。**



注射部位の拡大図  
仙骨裂孔からの注射

**硬膜外注射を受けられる方への注意事項**

- 1) 狭いところから注射をいたしますので、薬液注入時に圧迫感がでることがあります。
- 2) 注射当日は浴槽内に入らないで下さい。浴槽に入ると、水圧がお尻に加わるので針穴から雑菌が入ることがあります。  
シャワー・かかり湯程度なら水圧が加わりませんので、汗を流すのはかまいません。
- 3) 注射を受けた日から1週間位は無理なこと(重いものを持つ、腰痛を誘発する運動など)を避けてください。痛みは体の防御反応でもあります。無理をすると逆に痛みがひどくなることがあります。タバコは循環障害を起こしますし、アルコールは浮腫を起こしやすいので数日は避けて下さい。
- 4) 薬液注入後は足の力が少し弱くなっています。気をつけて歩いて下さい。もしもふらつく方は安静時間を長く取ってお帰り下さい。自動車の運転も反射時間が遅くなっていますので、お勧めできません。
- 5) 排尿、排便の感覚がおかしく感じることもありますが通常は半日から1日で元に戻ります。それ以上続く時は、腰部脊柱管狭窄症の程度がひどくて、膀胱・直腸障害がでている事が考えられます。早めに再受診して下さい。
- 6) 注入後に不眠になる方もありますが、注入時に使用した消炎鎮痛薬(ステロイド)の影響ですので心配いりません。数日で落ち着きます。
- 7) 後日の診察は、痛みが取れない方は早めに、それ以外の方は内服薬が切れる頃に再受診して下さい。